

# イーハトーブ

関西岩手県人会報 第5号

2006年12月13日発行

## 関西岩手県人会

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-900

大阪駅前第1ビル9階 岩手県大阪事務所内

Tel & Fax 06-6344-5969

発行代表者 堯 律子

編集代表者 松坂定徳

## 比叡山延暦寺に賢治の遺徳を偲ぶ

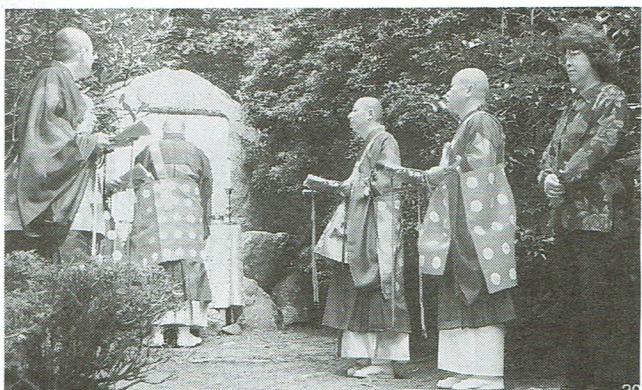
県人会親睦旅行

平成18年度の親睦旅行は、宮澤賢治の命日に当たる9月21日に実施されました。主たる目的は比叡山延暦寺根本中堂前に建立されている「賢治の歌碑」の前で賢治忌法要を延暦寺が行っているので、今年は県人会として親睦旅行を兼ねて参加する計画を立てたものです。秋晴れの爽やかな朝、大阪城公園駅で待つバスに午前8時30分集合である。予定時間までに1人を除く全員が乗り込む。9時近くまで遅れている会員を待ったが、法要の時間に遅れそうになつたので出発した。今回の親睦旅行会は、賢治の出身校・盛岡高等農林学校(現岩手大学)卒業生で結成している「関西・賢治の会」(会長:平沢農一氏)が中心となって延暦寺の法要に参加、協力してきたが、会長の平沢先生が亡くなられた後、会員名簿の紛失や連絡要領などの引継ぎがされないまま時間が経過していく、法要への参加が自然消滅するのを心配した県人会の会員で、「賢治の会」の和田浩氏・濱本昌範氏等が、岩手県人会として継続できる体制を確立させて欲しいと、関西岩手県人会に協力を求めてきた。県人会としても、宮澤賢治は岩手県を代表する偉大な先人であり、石川啄木とともに岩手に生まれた近代文壇の雄であることは、人口に膾炙されているところである。たまたま今年は生誕110年であり、県内でも盛り上がりを見せている状況にある。車中で和田浩氏から、賢治と延暦寺との関係の説明があり、賢治の作品についての寸評があったが、賢治の作品はやさしいようで難しい作品が多い。作品の中に理解できない言葉が次々に出てくるからである。哲学を学ぶ者の研究材料に使われるほど難解なのである。途中1回トイレ休憩をただけで、バスは快調に比叡山を上ったが予定時間より遅れたため、比叡山展望を省略して延暦寺駐車場に到着した。

すぐ根本中堂前に移動して法要開式までの時間を利用して根本中堂内陣を案内していただいた。比叡山延暦寺は、京都御所東北隅に位置した鬼門の場所に当たるので厄除けのために建てられたという。外部から侵入する厄気を祓い清める祈禱寺の役目を果たしている。比叡山に延暦寺という名前のお寺は存在しないが、比叡山延暦寺の中心の寺が根本中堂である。延歴7年(788)に創建されたので延暦寺という。ご本尊は薬師如来=お薬師様である。ご本尊の前

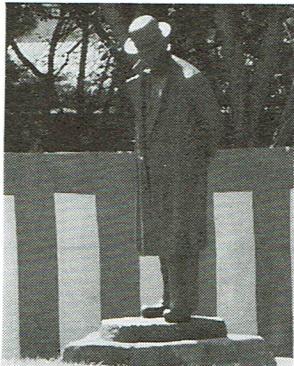
に三つの燈籠があるが、この燈籠は「不滅の法灯」と言われていて、創建当時から今日まで消えたことが無い。灯火は蠟燭ではなく、燈芯に菜種油を滲みこませて灯している。今日まで1218年間消えることなく燃え続けている。僧侶達は油を絶やすことなく注ぎ続けている。油が切れることを「油断」と言うが、「油断大敵」の語源とも言われている。延暦寺の不滅の灯明は重要な儀式である。三つの灯明の由来は、仏様にお供えする大切なものが三つある。その1は、献灯でありお灯明である。その2は、献花であり仏様の住む美しい花園を意味する。その3は、献香であり良い香りの煙を捧げる。煙には重要な意味があり、煙は雲となり仏様を天に導くと言われている。最近は煙の出ない線香も売られているが、仏様が喜ばれる線香ではないそうだ。

法要是11時30分から始まり、横山照泰参拝部長が導師となられ、僧侶4人を従え読経された。法要終了後、横山導師から碑文の説明があり、また平沢会長亡き後法要参加者が少ないので、今後の参拝を切望されていた。



賢治忌法要 右側堯会長

当日は郷里花巻でも盛大な法要が行われたが、話題は賢治が教鞭を執った花巻農業高校(旧花巻農学校)が開校100周年であり、同校に賢治がマント姿で田園に佇む有名なポーズの写真をモデルに、日展理事長の橋本堅太郎氏(76)制作の銅像が建立されたことである。資金は卒業生などの献金で賄われ記念式典が行われた。本会役員で「賢治の会」の世話人である村上忠夫氏(73)は同校の卒業生であり、除幕式と祝賀式典に参加された。除幕式では賢治の



完成した賢治銅像

作詞した花巻農学校精神歌を在校生一同が大合唱し、賢治先生に感謝の意を捧げた…と岩手日報が報じている。

比叡山を下りて「しょうざん・光悦芸術村」に向かう。

光悦ホール 2 階の食堂で京料理の昼食をいただき、1 階の染色工芸館で西陣織の作品や工

池を配した日本庭園の散策を楽しんだ。

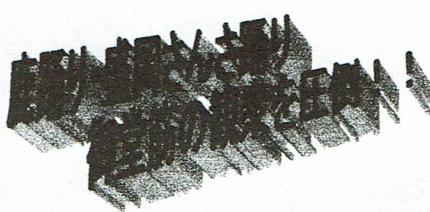
最後はサントリー京都工場の見学。工場の見学も珍しいが、何と言っても出来立てのビールの味が楽しみである。水の良い所を選んでビール工場が建設されていると説明があつたが、岩手にも良い水源が豊富にあるのにビール工場がないのは何故か？もしかしたら経営戦略が最優先であり、大量消費地との関連が優先されているからであろう。ビールの蘊蓄を垂れながら 2 種類のビールをいただく。おいしさを引き出すには、きめ細かい泡立ちがコツだという。おいしい泡立ちの出来る注ぎ口をセットにしたビールセットを土産に帰路のバスに乗り込む。適当な疲れを感じながら秋晴れの気持ちの良い楽しい一日であった。

松坂記

芸品の見学や買い物を楽しみ、京都独特の北山杉と杉苔と



宮澤賢治歌碑前で



恒例の「御堂筋パレード2006」は、好転の下、海外からの多数の団体も加わって、華々しく開催された。郷土岩手からは一昨年と同様に 100 人(頭?)の奥州市の江刺鹿踊り「百鹿大群舞」が、このパレードを締めくくるかのように、超迫力の鹿踊りを展開し、その踊りと太鼓の音は銀杏並木の御堂筋のビル街に響き渡り、パレードを最高潮に盛り上げた。この「百鹿大群舞」は、1985 年東北新幹線水沢江刺駅開業を記念し各団体の流派を越えて誕生したもので、100 頭の鹿による舞が名前の由来になっている。岩手の地元でもめったに見られない体験が大阪で可能とは信じられない思いであった。次回出場される時には、県人会会員の皆さんにも

この感動を味わっていただきたいものである。なお、岩手県からは、他にもう一団体「盛岡さんさ踊り」が出場し、有名なパレードの司会者をして“なんと優雅な踊り”と言わしめたことをお伝えします。パレード終了後、ミナミのホテルで鹿踊り参加者による懇親会が開かれ、奥州市長相原正明氏や関西岩手県人会の堯会長等の挨拶もあって、大変盛り上がったことは嬉しいことであった。

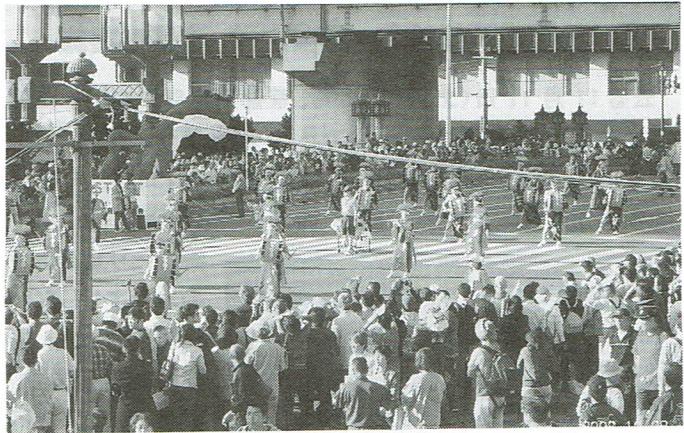
熊谷(克)記



ビルの谷間を行く百鹿



御堂筋を圧倒した「百鹿大群舞」



優雅な盛岡さんさ踊り

## 平成19年新春懇親会 2月10日(土) ラマダホテル大阪

『平成19年関西岩手県人会新春懇親会』を、以下の通り開催します。どうぞ奮ってご参加下さい！

日時：平成19年2月10日(土) 正午～午後3時

場所：ラマダホテル大阪 2階「大淀の間」 大阪市北区豊崎 3-16-19 Tel 06-6372-8181

会費：7000円 福引景品あり

(ラマダホテル大阪「前の東洋ホテル」は、地下鉄御堂筋線中津駅下車 梅田寄りの出口からすぐ)

## 岩手県準優勝 北東会ゴルフ

 去る10月5日、恒例の北海道・東北6県の「第20回北東会ゴルフ大会」が、小雨降る新奈良ゴルフ倶楽部で開催された。参加者は総勢71人で、わが岩手県チームは桐友会（会長 菊池秀一氏）の会員を中心に12人の精鋭が参加し、優勝を目指して奮闘した結果、惜しくも僅差で2位であった。（優勝は幹事の北海道）。

今回の競技方式は、グロスとネットの各上位5人の総合計で順位を決めるもので、グロスでは柏山氏が、またネットでは藤井氏がわがチーム最大の貢献者であった。競技終了後に表彰式と懇親会があり、参加賞は全員に北海道産のじゃがいも5kg、大麦250g、それに上位10位までの入賞者には北海道産「魚の一夜干し」1箱、その他飛び賞などがあった。なお団体戦の優勝賞品は各人にカニ1箱であった。来年の幹事は秋田県に決まった。

参加者：（順不同） 松本泰州 外浦記代美 藤井勝  
池田希和夫 日澤修 藤原照雄 菊池秀一 柏山喬 境 傳  
菊池満昭 尾張秀男 熊谷克己 熊谷記



健闘した岩手県チーム

=====  
■ 県人会に電話とFAX、Eメールが開通！  
■ 会員皆様の情報・原稿をどんどんお寄せ下さい。  
■ 電話&FAX 06-6344-5969(水曜日のみ)  
■ E-mail: [k7iwatek@w8.dion.ne.jp](mailto:k7iwatek@w8.dion.ne.jp)  
=====

## 第十三回「阿豆流為・母禮之碑」法要を実施

去る11月11日(土)11時から、京都清水寺において関西岩手県人会の分科会の一つである「関西アテルイの会」主催による「阿豆流為・母禮之碑」の法要が行われた。当日は夜半から大雨となり、午前8時ごろには小雨となつたが、



降ったり止んだりのハッキリしない天気となつた。法要開始直前まで、顕彰碑の前で行うか、室内で実施するか判断に迷

阿豆流為・母禮之碑

う状況でした。「水沢からわざわざ出席された方々のため」にも「顕彰碑」の前で進行したい考えもあったが、天候には逆らえず、やむなく寺務所内の講堂である「圓通殿」を借用しての法要となつた。

アテルイ・モレの行事でこの圓通殿を借用したのは二度目である。最初は平成6年11月6日(土)の除幕式に参列した200人の祝賀会を催した時であります。この日も朝から大雨で、当時の境内はまだ舗装されていませんでしたので泥濘の中での除幕式でした。除幕式が終わると雨も止みましたが、祝賀会場での話題は、「アテルイ・モレの喜びの涙雨」である…と誰言うともなく会場内に伝播されたことを思い出します。今回も奥州市から岩井憲男助役さんをはじめ、胆江日日新聞社の協力で歴史に关心を寄せる23人が参加して下さり、関西を含め総勢64人が参加して法要を営むことが出来ました。これも関西岩手県人会、京都岩手県人会の各位が手を携えて協力して下さったお蔭であると感謝しています。



岩井憲男助役(後列左から5人目)ほか奥州市の皆さん

今年は法要に参加して下さった方々のために、一般には公開していない「田村堂」(開山堂とも言う)を特別な計らいで拝観させていただくことが出来た。今後もこのような企画を探り入れたいと考えています。田村堂はその名の通り、アテルイ・モレに友情を示した坂上田村麻呂夫妻像や清水寺元祖・行觀居士、開山の延鎮上人坐像をお祀りしているお

堂である。建造物、御像を収蔵している厨子も重要文化財に指定されていて清水寺の重要な宝物である。

田村堂を拝観したことにより、懇親会を30分遅らせて12時30分の開始となり、小瀬川会長の挨拶に始まり森貢主の法話を聴いた。今年の法話は、11月から九州福岡で「清水寺展」を開催しているが、これの説明を兼ねて、福岡と清水寺の関係について話された。今回の清水寺展には田村麻呂像や仏像など60点を展示しているという。清水寺と福岡との縁は、幕末に西郷隆盛を精神的に支えた清水寺の成就院住職・月照上人が勤皇運動に加担するため住職を弟の信海上人に譲り活動した。いわゆる井伊直弼の安政の大獄が起こり、幕府に狙われ西郷と共に鹿児島に向かう途中の1ヶ月間ほど福岡に滞在した。福岡で上人が詠んだ和歌が残されておりそのときの心情を知ることが出来ると、福岡滞在中の和歌を紹介しながら、福岡に隠棲した様子を詳細に説明された。鹿児島に下っても追っ手が迫り時勢に絶望した二人が錦江湾に身を投じた話は有名であるが、病身で42歳の月照上人は示寂したが、若くして頑丈な西郷は助けられ蘇生した。その後に活躍した西郷隆盛の業績はご存知の通りである。

月照上人の17回忌に西郷隆盛(南洲)が上人を偲んで詠んだ七言絶句の有名な漢詩がある。

月照墓前の作 西郷南洲

相約して淵に投ず 後先無し 岌圖らんや 波上再生の縁  
頭を回らせば 十有餘年 空しく幽明を隔てて 墓前に哭す

田村麻呂と同様に隆盛の優しさを知ることが出来る。田村堂の裏にある北総門を潜ったところに大きな石碑3個が建っている。これが西郷隆盛の上記の詩碑と月照上人、弟の信海上人の歌碑である。

参考までに付言すると私たちは法要後の会食を懇親会と呼んでいるが、正しくは仏式では斎(とき又はおとき)と言い、神式では直会(なおらい)と言うそうである。 松坂記

## 「jengo」お客様感謝祭

11月25日～26日、大阪市中央区の「jengo」で、食味ランディングで最高の「特A」を11回獲得している「いわて県産ひとめぼれ」の産地米「江刺金札米」と「岩手ふるさと米」の店頭販売をはじめ、江刺りんごの試食販売会などが行われ多くの人にぎわった。県大阪事務所の職員も総出で売り場に立ち奮闘していた。Y氏は仮装して道行く人の呼び込みに懸命だった。地方公務員の不祥事に関するニュースに事欠かないこの頃だが、大阪の地で、多岐にわたる業務に懸命に取り組んでいる皆さんの仕事振りには日頃から感銘を受けている。県人会の活動にサポートをいただいていることに感謝するとともに改めてエールを送りたい。 鎌田記

# 桐の会

平成 18 年度【桐の会】

期日 18 年 11 月 3 日

於 六甲山ビラ(平成 17 年度・大好評に尽きリクエスト会場)

溝井 まさ

当時は三連休の初日とあって、出席者数を心配しましたが、皆様にご協力を頂き(女性 13 人、男性 4 人)計 17 人の会員で開催されました。集合場所の芦屋駅には、約束時間より、30 分以上も早く、輝いた顔、顔が揃って、レッツゴウ！六甲山ビラへ。

ビラでは、一年振りの再会に話に花がさき、マンツ。マンツと。

少しホツとした

後の夕食…

家庭の主婦に

とつては、上げ

膳、据え膳、の、

マア～なん

と！！有難い

こと！！それ

に、極上の雰



あでやかに桐の花満開

囲気の中で、極上の牛しゃぶ……。

吉田次長様ご寄贈の我らが岩手の美酒・ワイン。思わず、腕捲りなんぞをしたりして…。

「ダイエット 明日にしょっと 囲む鍋」と、腰折れの一匁などを旗印に舌鼓を打った会員、大きな満足感の後はゲーム室へ。其処には、山積された発会長寄贈のブランド品…。ビンゴゲームの賞品です。チラリ、チラリ、と熱い視線など送りながら始まったビンゴゲーム。「リーチ」「ダブルリーチ」「トリプル」と声は揚がるが、なかなか「ビンゴ」は出ない。皆、一所懸命だ。正に『無心』の空間。スゴイ！！皆若い！！！

やっと、お目当ての賞品を手に入れてビンゴゲームは終了し、その満足感を引きずって始まったカラオケ、これは、又、なんと素晴らしい美声揃い。美声は己も周囲も酔わす…聞きほれて引き込まれて…天国に行った気分！！幸せなこの時よ止まれ！！。

こんな一夜が明けた朝の食卓はもう皆、家族。暖かい心が伝わって、こんなに、心の休まる処があるなんて…思わず

口について  
出たのは「実  
家に帰った  
みたい！！  
ここは、心の  
故郷だネ。」  
と頷きあつた  
ことでした。  
身も心も



岩手美人とサポーター

「安らぎ満タン」の会員、話も名残も尽きない皆なでしたが、ビラの前で記念写真を撮り、来年の約束を交わして散会いたしました。

次回の「桐の会」は平成 19 年 11 月の初め頃を考えて居ます。今年はご都合で残念ながら欠席された方、来年はきっといらして下さいね。

また、次回は「参加したいが、曜日に困る」と仰有る方がおられましたら、県人会、桐の会まで、ご遠慮なくお申し出で下さい。ご希望に添える様、できる限り努力を致したいと思います。

次回の「桐の会」でお会い致しましょう。多数のご参加を、お待ち致しております。

## 岩手の自慢400字

### (2)「岩手木炭」全国一の生産量

岩手県の木炭生産は、明治後期に生産促進が図られ、大正 10 年からは木炭の品質改善と規格の統一を目的として、全国に先がけて県営木炭検査が実施されるなどの奨励策が進められた。その結果、生産量は次第に伸び、昭和 28 年には全国生産量の 10% にあたる 20 万トンの生産量となつた。昭和 30 年代に入り、石油、ガス等が家庭燃料として進出するようになり、一時木炭の需要が減少したが、現在でもなお一般家庭用のほか、業務用・レジャー用・茶道用などとして広く利用されている。最近では木炭の新用途利用として、地力増進用の土壤改良材や、水質浄化用、床下調湿用などの利用が増加し、安定した需要に支えられている。現在岩手県の木炭生産量は、全国シェアの 23.8%(平成 15 年林野庁経営課調べ)を占め、全国一の生産量を維持し、岩手木炭として全国 37 都道府県に出荷されている。

岩手県 HP より 鎌田記

## ふるさと便り

### 江刺産「サンふじ」1 個 2 万円の初値つく！

高級ブランドとして全国に知られる「江刺りんご」の主力品種「サンふじ」の初競りが、11 月 11 日朝、盛岡市羽場の市中央卸売市場で行われた。今年は台風災害などもなく品質は上々。最高値は 10 キロ入り 1 箱(28 玉)が 60 万円と昨年を 5 万円上回り、過去最高を更新した。競りには奥州市の相原正明市長も駆けつけ「今年は天候にも恵まれ、今までにない色、形になっている。今年から新奥州市の特産品となった「サンふじ」が、今まで以上の値段で取引されることを期待したい」と約 100 人の仲卸業者にあいさつした。威勢の良い掛け声が響いて、初日出荷分 555 箱が次々に競り落とされていった。花巻市の業者が最高値 60 万円で競り落とした

「特選」は、1個当たりの価格が約2万1500円にもなる。ご祝儀相場としても破格の値段に、大きなどよめきと拍手が沸きあがった。奥州市江刺区産のサンふじは糖度が高く、酸味との調和も抜群で贈答用としても人気が高い。色づきや食感、酸度や糖度ともに例年以上の出来ばえとなったという。

「岩手日報」より

## 専大北上初戦突破ならず

第88回全国高校野球選手権大会第6日の8月11日、甲子園球場で2回戦4試合が行われ、本県代表の専大北上(6年ぶり5度目)は、福岡県代表の福岡工大城東と対戦したが、残念ながら4-0で敗退した。

専大北上は初回一死2塁、2回は一死2、3塁と立ち上がりに先制のチャンスがあったが後続を断たれた。逆に2回裏に守備が乱れて二死から2点を先取され、5回にも二死から2点を追加されて敗れた。

なお試合に先立ち、8月4日、関西岩手県人会の堯会長はじめ有志が、専大北上ナインを神戸ポートサイドホテルの宿舎に訪ね、出場記念トロフィーなどを渡し激励した。

試合結果は以下の通り。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
専大北上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡工大城東	0	2	0	0	2	0	0	0	0	4



## 盛岡工花園出場

### 第86回全国高校ラグビー大会

第86回全国高校ラグビー大会岩手県大会決勝は、10月22日、盛岡市・盛岡南公園球技場で行われ、盛岡工が不来方を41-0で下し、2年ぶり32度目の優勝を飾った。盛岡工は序盤からFW戦で圧倒。相手陣ゴール前のラインアウトを起点にしたモールから、ナンバー8沢口大介(2年)が2トライを上げるなど、4トライ(1ゴール)を奪い29-0で折り返した。風下の後半も2トライを加え突き放した。不来方は昨秋の県高校新人戦から3大会連続決勝で盛岡工に敗れた雪辱を期したが、相手の固い守備にも阻まれ、持ち前の展開力を封じられた。全国大会32回目出場の盛岡工は1回戦、12月27日(水)12:00、第1グラウンドで最多59回出場の奈良・天理と対戦する。古豪同士の対決で1回戦注目の好カード。ここは是非、大挙応援に駆けつけ盛岡エイレブンを盛り立てよう。勝てば2回戦はAシードの福岡・東福岡。(花園ラグビー場は近鉄奈良線「東花園」駅より徒歩10分。)

## 高校駅伝は一関学院と花巻東

高校駅伝の男子第57回、女子第18回全国大会県予選兼第23回県高校女子駅伝は10月20日、花巻市総合体育館前を発着点とする公認ハーフマラソンコースで行われた。男子は一関学院が2時間10分7秒で12年連続16度目の優勝を飾った。女子は花巻東が1時間14分32秒4年で、連続12度目(県高校女子駅伝は17度目)の栄冠を手にした。両校は12月24日、京都市で行われる全国大会に出場する。

## 事務局掲示板

### 会員動向

新入会(敬称略)

多賀谷 真吾

662-0047 西宮市寿町2-17

藤原 弘明

630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘1456-20

前田 伸江

631-0045 奈良市千代ヶ丘1丁目6-5

真夏の甲子園球場で高校野球を応援してから早くも3か月がたち、事務局は年末と年始の準備に取りかかる季節となりました。

何事も、県人会会員のためにというモットーで、これからも進めて参りますので、ご協力のほどお願い致します。今後の主な行事予定は次の通りです。

12月末~1月初め 高校ラグビー盛岡工業高応援

19年2月10日(土) 県人会新年祝賀会

役員会では県人会に關係ある全ての事柄について討議いたしますので、ご提案、問題等があれば、遠慮なく事務局に電話するか、役員にお話し下さい。なお今年から京都で行われる高校駅伝競走の応援は、京都岩手県人会に一任いたしました。

事務局・熊谷

### 編集後記

昨年の7月13日に「イーハトーブ」第1号を発行してから、何とか第5号をみなさんにお届けすることが出来た。当初は年1~2回出せれば良い位の心積もりだったが、会員のみなさんに情報を共有し、相互の連絡を密にしていただきたいという願いから、予定よりも多く発行できることを、編集部も喜んでいます。ただ、この「イーハトーブ」は単なる“お知らせ広報誌”ではなく、会員のみなさんが情報を発信しあわいに交流を深めていただくための“広場”です。どうぞ積極的に紙面を活用して下さい。投稿をお待ちしています。 鎌田記